

JISA、岡山での情報通信月間参加行事で「変革への挑戦」を提案



5月28日、岡山ロイヤルホテルで一般社団法人システムエンジニアリング岡山（SEO）の主催による「平成25年度情報通信月間参加行事」の講演会が開催され、JISAより島田副会長が講演「21世紀のITシステムはどう変わるか～ダイバーシティの視点も加えて～」を行った。参加者は80名。なお、当日はSEOの定時総会も同会場で開催された。

講演会は、はじめに岡山市経済局の堤次長より「岡山の強みをいかした産業育成」、続いて岡山県県民生活部の馬宮情報政策課長より「第5次おかやまIT戦略プログラムについて」が行われ、今後の岡山におけるIT施策を展望した後、JISA 島田副会長が登壇した。

島田副会長の講演では、グローバルな経済連携の進展や先進国と新興国とのパワーバランスの変化等の環境変化を踏まえ、アベノミクスの3本の矢における「民間投資を喚起する成長戦略」は我々自身がやらなければならないとし、そのための自己変革の必要性を訴えた。また、女性の活力を最大限に引き出すためのワークスタイル変革により地域の活性化を図ることを提案した。そして最後に、我々の提供するITサービスが顧客にとって価値あるものであり続けるよう、ともに挑戦していこうとのメッセージを贈った。



講演会後の懇親会では、冒頭にSEOの松田副会長（(株)両備システムズ 社長）から各自が事業ドメインを明確にし、それぞれの強みをもって岡山のIT産業を発展させていこうとの挨拶があり、その後、参加者による活発な交流が行われた。なお、SEOはJISAの地域連携事業にも参加し、今後とも問題認識を共有して活動していく。

（手計）